

廃棄物処理計画の施策の取組状況について

1 概要

第10次千葉県廃棄物処理計画に係る点検・評価として令和4年度から令和5年度までの施策の取組状況等を取りまとめました。

【取組の指標について】

第10次計画では、取組の指標を可能な限り定量的に設定していることから、その進捗状況については、数量的に評価しています。

なお、取組の性質により、指標の定量化が困難なものや適切ではないものについては、事業の実施の有無など定性的に評価しています。

2 第10次千葉県廃棄物処理計画の施策の取組状況について

第10次計画で取り組む各種施策の取組状況について、令和4年度実績及び令和5年度進捗状況を資料2-1のとおり取りまとめました。

(1) 令和4年度「実績」欄

- 定量的な指標を設定した取組については、令和4年度末の実績値を記載しました。
- 定量化が困難な取組については、設定した取組の実施の有無により、「○」「×」で評価しました。なお、災害時に実施する取組など、災害の発生がなく取り組む必要がなかったものについては、「－」と記載しました。全86項目の取組のうち、「○」が81項目、「－」が4項目ありました。
- また、処理困難物の適正処理や災害廃棄物対応等に係る市町村等からの要望を考慮し議題を選定したため、「ごみ処理有料化の促進」を扱う研修会の開催がなく、この1項目が「×」となりました。

(2) 令和5年度の「進捗状況」欄

- 定量的な指標を設定した取組については、令和5年10月末時点の進捗状況を記載しました。
- 定量化が困難な取組については、令和4年度「実績」欄と同様に設定した取組の実施の有無により、「○」「×」で評価しました。なお、年度内に実施予定であるものの未完了であるもの等については、「－」と記載しました。全86項目の取組のうち、「○」が66項目、「－」が19項目ありました。
- また、外国人向けごみ出しルール啓発の取組や令和5年台風第13号に伴う災害廃棄物対応等に係る市町村等からの要望を考慮し議題を選定したため、「ごみ処理有料化の促進」を扱う研修会の開催がなく、この1項目が「×」となりました。

(3) 指標の見直しについて

- 県では、ごみ削減のために身の回りのできることを実践するライフスタイル「ちばエコスタイル」を推進しています。
- 近年、海洋プラスチックごみ問題や食品ロス問題への関心の高まり、関連する新たな法律の制定などを受け、より一層の取組が求められていることから、「ちばエコスタイル」を拡充・リニューアルしました。
- これに伴い、令和5年10月10日から、「ちばプラごみ削減パートナー」「ちば食品ロス削減パートナー」の登録制度が開始したことから、指標を見直しました。

項目	現指標	新指標	目標
プラスチックごみの削減 (資料 2-P6)	①ちばレジエコサポーター登録者数 (R2 年度末 38,146 人) ②ちばマイボトル・マイカップ協力事業者数 (R2 年度末 509 店舗)	ちばプラごみ削減パートナー登録事業者数 (R5. 10. 10 開始時点 21 事業者 510 店舗)	増加を目指す
食品関連事業者等における取組の支援 (資料 2-P11)	「ちば食べエコ協力店」の登録店 (R2 年度末 430 店舗)	ちば食品ロス削減パートナー登録事業者数 (R5. 10. 10 開始時点 14 事業者 545 店舗)	増加を目指す